

# 小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。  
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	理科「私たちの生活と電気」
学年	小学校第6学年
目標	MESHを使い、電気を効率よく利用するプログラムを組むことで、その仕組みを体験的に学習する。体験することで、身の回りには、センサーなどを使って、エネルギーを効率よく利用している道具があることに気付かせるようにする。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	MESH
環境	児童4～5人で1台の端末を使用
都道府県	東京都
実施校	大田区立梅田小学校
学習活動の概要・児童の様子 (プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>身の回りに使われている電気製品を思い浮かべ、それらが便利に使うために、プログラミングが使われていることを学んだ。学習の終末では、MESHを使って効率的に明かりを使用できるライトを開発するというテーマの基、活動を行った。</p> <p>グループ内で、開発するライトのプログラムを考えた上、MESHを使って、プログラムを組む活動に取り組んだ。試行錯誤しながら取り組む姿は、まさにプログラミング的思考を働かせていたように感じた。</p> <p>MESHを通して、グループが一致団結して取り組んでいた。そういった面も、プログラミング教育の良さである。</p>
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科と関連付けながら授業を展開することに難しさを感じた。</li><li>・機器トラブル等で教師一人では難しい場面があることが分かった。</li><li>・プログラミング自体は児童が楽しく取り組めるものだと分かった。</li><li>・新たな取り組みなので、児童に対して学びが多くあることが分かった。</li></ul>